

I 総務報告

1. 第41回 評議員会・理事会

- 日 時：平成19年6月22日（金）10時40分～12時10分
会 場：九段会館 「翡翠の間」
議 案：平成18年度事業報告承認の件
：平成18年度決算承認の件
：平成19年度エイズ予防対策事業特別会計収支補正予算案承認の件
：平成19年度エイズ対策戦略研究事業特別会計収支補正予算案承認の件
：「財団法人エイズ予防財団事務局の組織及び運営規程」改正承認の件
：役員選任の件（評議員会）

2. 第42回 評議員会・理事会

- 日 時：平成20年3月14日（金）10時45分～12時10分
会 場：九段会館 「孔雀の間」
議 案：平成20年度事業計画承認の件
：平成20年度収支予算承認の件
：平成19年度一般会計収支補正予算承認の件
：平成19年度エイズ対策研究推進事業特別会計収支補正予算案承認の件
：平成19年度エイズ対策戦略研究事業特別会計収支補正予算案承認の件
：理事の選任の件（新任）（評議員会）
：理事再任及び理事、監事選任の件（評議員会）
：専務理事互選の件（理事会）
：理事長及び専務理事互選の件（理事会）
：評議員再任及び選任の件（理事会）

Ⅱ 事業報告

1. 普及啓発事業（一般会計）

- (1) 行政機関、団体、学校等へ講師を派遣してエイズの知識の啓発普及を実施した。（厚生労働省、東京都、神戸市、東京都歯科医師会、国際協力機構、神奈川県理容生活衛生同業組合、栃木県臨床心理士会、日本エイズ学会学術集会・総会 神奈川県立高等学校・エイズ教育実践研究会、東京農業大学第三高等学校、NPO 法人HIV人権ネットワーク沖縄、）
- (2) 財団監修・後援名義使用
監修名義：出版物（小冊子、リーフレット等）に付与
後援名義：講演会、公演会、チャリティーイベント等に付与

2. 情報収集提供事業（一般会計）

- (1) スリランカ コロンボ市で開催された第8回アジア太平洋地域国際エイズ会議に参加し、エイズ予防対策についての情報提供を行うとともに、HIV／エイズの最新の知見及び各地域の現状を情報収集した。
- (2) インターネット上のサイト（「財団法人エイズ予防財団」ホームページ）に諸事業等の情報（設立趣旨、事業内容、寄付について、日本エイズストップ基金、エイズ予防のための戦略研究、水道橋三崎町クリニック等）を収録して情報提供を行った。

3. 国際会議等開催（一般会計）

- (1) スリランカ コロンボ市で開催された第8回アジア太平洋地域国際エイズ会議展示会場へブースを出展し、財団の活動紹介・日本のNPO・NGO等の活動の取り組み紹介、日本のエイズの現状紹介等の情報提供を行った。
期間：平成19年8月19日～23日
- (2) 広島で開催された第20回日本エイズ学会に職員を派遣し、相談員養成研修事業を中心とした財団の事業の紹介をするとともに、NGO・NPOに一部スペースを提供するなど、NGOとの連携、活動の支援を行った。
期間：平成19年11月30日～12月2日

4. 水道橋三崎町クリニック特別会計

最近の抗HIV療法の進歩により、エイズ患者の治療が改善されてきている。このため、長期にわたって治療を受けるエイズ患者・HIV感染者が増加しており、患者・感染者の利便性に配慮した医療が求められている。患者・感染者が、仕事、学業等の社会生活と治療を両立しQOLを維持するために、仕事や学校を休まずに受診できる医療機関の確保は大変重要であると考え、水道橋三崎町クリニックを開設することとし、夜間や休日に診療を行うとともに、HIV検査受検促進を目的とし、HIV・B型肝炎・梅毒の迅速検査も実施した。

開設日：平成19年2月1日

診療日時：火曜・木曜 17：00～20：00

土曜 9：00～13：00

診療受付：24時間電話予約サービスによる完全予約制

処方：近隣の自立支援医療指定薬局（院外処方）

その他：自立支援医療指定機関・生活保護法指定機関

来院者数：492名（受検者数は287名）

5. 大阪HIV検査センター支援事業

HIV検査受検の促進を図るため、厚生労働省疾病対策課の指導の下、大阪府、大阪市等の運営による大阪市内HIV常設検査センター（chotCASTなんば）が設置され、3月30日に検査を開始した。ブリストル・マイヤーズ株式会社の寄付を受けて、検査センターの家賃・工事にかかる財政的支援を行った。

6. ティーンエイジャー支援事業

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の寄付を受けて、高校生・中学生を中心とするティーンエイジャーを対象としたHIV／エイズ予防啓発を目的とし、①ティーンエイジャー自身が参画する活動、②ティーンエイジャーを対象にした活動に継続して参加する指導者の育成活動への資金助成を行う。平成19年度は20年度に実施する事業の募集を行った。

7. エイズ予防対策事業（厚生労働省委託費）

(1) 血液凝固異常症実態調査事業

血液製剤を通じてHIVに感染した血友病患者を中心に、血液凝固異常症の病態を把握し、治療の向上と生活の質の向上に寄与することを目的として、凝固因子製剤を納入している全国の医療機関に調査を実施した。

平成19年6月20日 1,502担当部署（1,371施設）へ調査票を送付。746担当部署（638施設）から回答を得た。

(2) HIV感染者等保健福祉相談事業

①エイズ治療中核拠点病院相談事業

エイズ治療中核拠点病院（平成18年度に創設）に相談員を配置して保健福祉相談を実施し感染者・患者等の心理的援助を行なった。

委託先医療機関 13病院

②HIV検査・相談事業

- ・山梨県（夜間・休日）、札幌市（土曜日）においてHIV検査を実施。
- ・長野県（6月、12月）、石川県（12月）、大阪府（6月、3月）、沖縄県（6月、12月）、広島県（11月、12月）、長崎県（3月）、名古屋市（6月）、渋谷区（11月）、杉並区（3月）において臨時のHIV検査を実施。

③財団内に電話相談室を設置し、専門相談員によるフリーダイヤルによる電話相談を実施。（受付：月～金曜10:00～13:00、14:00～17:00）

④電話自動応答システム（JFAPエイズサポートライン）による8カ国語でのエイズ予防情報の提供（東京、神戸、福岡に設置）。

(3) エイズ患者等に対する社会的支援事業

エイズ患者・HIV感染者及びその家族に対するきめ細やかなケアやサポートを行うにあたり医療体制とNGOとの連携等の社会支援に関する調査及び在日外国人患者・感染者に対する援助を実施した。

委託先：①特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター

②特定非営利活動法人クリアチーヴォスHIV/AIDS関連支援センター

(4) ボランティア指導者育成事業

ボランティア活動を活用したエイズについて正しい知識の普及啓発を積極的に行うため、リーダーの養成を目的としてNGO指導者研修会を開催した。なお、各NGOの相互理解、情報共有並びに交流を図るため、プログラムの

一部はケア応用編（相談員養成研修事業）と合同で実施した。

平成20年2月22日～23日 東京都にて開催 参加者：18人

(5) 相談員養成研修事業

エイズ相談員等養成研修会の実施

①HIV検査・相談研修会（応用編）

平成19年5月17日～18日 東京都にて開催 参加者：32人

②エイズ予防・ケア研修会（入門編）

平成19年8月3日～4日 東京都にて開催 参加者：137人

③エイズ予防・ケア研修会（入門編）

平成19年9月29日～30日 仙台市にて開催 参加者：68人

④HIV検査・相談研修会（基礎編）

平成19年10月26日～27日 東京都にて開催 参加者：60人

⑤ケア合同研修会（応用編）

平成20年2月22日～23日 東京都にて開催 参加者：87人

⑥通訳とHIV研修会

平成20年3月15日～16日 東京都にて開催 参加者：21人

(6) エイズ治療拠点病院医療従事者海外実地研修事業

エイズ治療の拠点病院における診療能力の向上及びHIV／エイズ診療のリーダー的役割をになう人材の育成を図るため、エイズ診療の経験豊富な海外医療機関へ派遣し、臨床実地研修を実施した。

派遣先：ロサンゼルス 南カリフォルニア大学ケック医学部
(医師コース)

サンフランシスコ カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校
(医師コース、看護師コース)

参加者：医師 7名（ロサンゼルス2名、サンフランシスコ5名）

看護師 6名（サンフランシスコ6名）

(7) エイズ治療拠点病院地域別病院長会議開催事業

エイズ治療拠点病院の整備状況、今後の拠点病院の在り方等について意見交換を実施するために、厚生労働省で開催された「中央運営協議会」に合わせて、エイズ治療ブロック拠点病院長会議を開催した。

日時：平成20年3月4日（火）16時30分～17時30分

場所：日比谷松本楼（千代田区日比谷公園）

(8) HIV診療医師情報網支援事業

HIV感染症の臨床医による交流等の連携を図るため症例検討会、講演会、ネットワーク紙の発行を実施した。

支援先：①東北HIV診療支援ネット

②HIV感染症の医療体制構築を目指すネットワーク（新潟）

③東海ブロックエイズ診療拠点病院連絡協議会

④北陸HIV臨床談話会

⑤関西HIV臨床カンファレンス

⑥岡山HIV診療ネットワーク

⑦九州ブロックエイズ診療ネットワーク会議

(9) アジア地域エイズ専門家研修事業

①第14回アジア地域エイズ専門家研修

アジア地域におけるエイズ予防対策の推進を図るため、アジア地域のエイズ・結核対策関係者を日本に招へいし実務研修を実施した。（結核予防会結核研究所による技術支援あり）

日程：平成19年9月25日～11月2日

参加者：18名（中国他13ヵ国）

②第14回国際エイズ対策行政官研修

ASEAN諸国のエイズ予防及びケアの分野における国際協力のカウンターパートの人材確保及び相互協力の調整を図るため、ASEAN地域のエイズ予防・治療・ケアに携わる行政官をカンボジアに招聘し研修を行った。なお、研修の効果を上げるため、国際厚生事業団が実施している「エイズ開発途上国ワークショップ」との合同開催とし、座学のみにとどまらず、ワークショップ及び現地視察を実施した。

日程：平成20年2月18日～22日

開催地：カンボジア プノンペン

視察先：プノンペン

参加者：10名（ASEAN各国の保健行政当局のHIV対策担当責任者）

(10) エイズ国際会議研究者等派遣事業

平成19年8月19日から23日にスリランカコロンボ市で開催された第8回アジア太平洋地域国際エイズ会議に研究者、NGO、医療従事者等を派遣した。

派遣人数：19名

(11) エイズ国際協力計画推進事業

アジア地域を中心としたMSMに対するエイズ予防対策への、わが国としての国際協力のあり方を検討するため、フィリピンの現地調査を実施した。

日程：平成20年3月9日～3月13日

訪問国・地域：フィリピン マニラ市、バギオ市

調査派遣者：2名

(12) エイズ知識啓発普及事業

①全国の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒及び一般を対象にポスターコンクールを実施。表彰式は「世界エイズデー」シンポジウムの中で行った。

応募期間：平成19年7月4日～9月5日

応募総数：383点

②公共広告機構（AC）と連携して多角的啓発普及を実施した。

（テレビ・ラジオCM、新聞・雑誌広告、車内広告、ポスター等）

・平成19年4月～6月「うしくんのHIVエイズ検査体験レポート」

・平成19年7月～平成20年3月「TERU登場」

③「HIV検査普及週間」の啓発普及事業

ライブトーク・街頭キャンペーンの実施

5月28日（月）東 京 ①池袋 ②渋谷 ③新宿

5月30日（水）名古屋（中区栄小公園）

5月31日（木）大 阪（中央区アメリカ村）

④小冊子・リーフレットの作成・配布

⑤海外渡航者向けの小冊子を作成し全国の検疫所を通して空港等に配布した

⑥東京・名古屋・大阪・福岡においてMSMに対するコミュニティセンターを設置し、エイズに関する情報提供等を実施

⑦同性愛者向けイベントの活用による啓発普及（東京プライドパレード等）

⑧全国のNGO活動の情報の集約とその発信

⑨携帯電話向けAIDS/STI情報サイトからの情報提供の発信

(<http://www.aidsmob.com>)

(13) 「世界エイズデー」啓発普及事業

①12月1日の世界エイズデー・キャンペーンイベントの実施

・トーク・ライブ「RED RIBBON LIVE 2007」

開催日：平成19年11月30日（金）18:30～21:30

会場：SHIBUYA-AX（東京都渋谷区神南）

参加者：約800人

・お笑いライブ「RED RIBBON お笑いLIVE」

開催日：平成19年11月30日（金）18:30～20:30

会場：SHIBUYA-BOXX（東京都渋谷区神南）

参加者：約100名

- ・ケヤキ並木ストリートLIVE

開催日：平成19年11月30日（金）

会場：ケヤキ並木（東京都渋谷区神南）

内容：ストリートミュージシャンによるLIVE

参加アーティストのパネル展示

啓発ブース

- ・FMラジオ局を通じてエイズデーイベントの呼びかけや情報提供

- ・インターネット等による啓発及び情報提供

エイズ予防情報ネットにおいて、通常の予防啓発に関する情報に加えて、世界エイズデー前後の期間に各地方自治体で実施するイベントの紹介やHIV検査やエイズ相談の実施体制等について情報提供を実施した。

また、YAHOO! JAPANと連携して、「RED RIBBON LIVE」に関する情報や著名人のエイズ啓発に関するコメント紹介等を実施した。

②HIV検査の実施

イベント実施にあわせて、渋谷駅近くの会場でHIV検査を実施した。

日時：平成19年11月30日 12:00～19:30

会場：シブヤ・ネクサス（渋谷区道玄坂）

受検者数：57人

③街頭キャンペーンの実施

世界エイズデーの告知並びにシブヤ・ネクサスでのHIV検査実施の告知を目的とし、学生ボランティア等の協力を得て街頭キャンペーンを実施した。

実施日：11月30日（金）

実施場所：渋谷駅周辺、シブヤ・ネクサス周辺、渋谷パルコ周辺

④「世界エイズデー」シンポジウムの開催

「エイズ予防の20年の歩みとこれからの展望」をテーマとしたシンポジウムを開催した。また、開催に先立ち、平成19年度ポスターコンクール入選者の表彰式を実施した。

開催日：平成19年12月2日（日）

会場：新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区西新宿）

参加者：130人

⑤UNAIDS/WHOの発行した「AIDS Epidemic Update 2007（HIV/AIDS最新情報）」を翻訳し、日本語版を発行した。

(14) エイズ予防情報センター事業

エイズ患者・感染者やその家族、一般国民及び医療関係者等に対し、エイズに関する啓発情報、HIV検査情報、NGO活動情報等をホームページ「エイズ予防情報ネット」で情報提供を行った。

(15) 青少年エイズ対策事業

厚生労働省エイズ対策研究HIV社会疫学研究班の協力の下に、青少年に対する科学的根拠に基づくエイズ予防事業を実施するために、①中学校・高等学校の教師②保健所のエイズ対策担当者を対象に研修会を実施した。

①保健室プロジェクト

高等学校用研修会 平成19年8月21日 京都府にて開催

中学校用研修会 平成19年8月23日 京都府にて開催

②保健所プロジェクト

保健所用研修会 平成19年9月19日・20日 京都府にて開催

(16) エイズ治療啓発普及事業

エイズ治療に関する最新の情報を整理・提供することにより、エイズに対する差別・偏見の軽減に寄与するために次の事業を実施した。

①「エイズ医療連携推進協議会」を設置し、病院と診療所との連携のあり方を検討するための協議会を開催した。また東京都内の医療機関の協力を得て、病院と診療所の医療連携についての患者のニーズ調査を実施した。

協議会

・平成19年5月10日（金）東京ガーデンパレスにて開催

・平成20年3月28日（金）水道橋ビル会議室にて開催

②公開シンポジウムの開催

・「抗HIV薬開発への挑戦」 平成19年7月7日（土）東京都にて開催

・「HIV診療におけるチーム医療シンポジウム」（4回開催）

平成19年6月23日（土）新潟県にて開催

平成19年6月30日（土）富山県にて開催

平成19年7月28日（土）愛媛県にて開催

平成19年9月29日（土）千葉県にて開催

③エイズリポートの発行

エイズリポートを作成し、全国のエイズ治療拠点病院等に配布した。

76号（5月）、77号（8月）、78号（11月）、79号（2月）

8. エイズ対策研究推進事業（厚生労働科学研究費補助金）

(1) エイズ対策研究推進事業運営委員会

①日時：平成19年6月5日（火）

会場：水道橋ビル3階会議室

会議内容：平成19年度事業（追加募集）応募申請の採択等について

②日時：平成20年3月12日（水）

会場：水道橋ビル3階会議室

会議内容：平成20年度事業応募申請の採択等について

(2) 外国人研究者招へい事業

・招へい人数 5人

・招へい内訳（国別） 米国 3名、フランス 1名、ウガンダ 1名

(3) 外国への日本人研究者派遣事業

・派遣人数 6人

・派遣内訳（国別） 米国 4名、フランス 1名、イタリア 1名

(4) 外国の研究機関等への委託事業

・委託件数（6ヵ国） 6件

・委託内訳（国別） タイ 2件、米国 1件、中国 1件、マレーシア 1件、
フィリピン 1件

(5) 若手研究者育成活用事業（リサーチ・レジデント）

・人数 70人

国立感染症研究所等研究機関（19機関） 33人

ブロック拠点病院等（10機関） 37人

(6) 研究成果等普及啓発事業

研究成果発表会（国民向け）

開催回数 16件（40回）

テーマ

わが国におけるHIV感染症～周産期と小児期 3回

エイズに伴う日和見原虫感染症の診断に関する講習会 2回

エイズの治療研究の現状とこれからの課題 1回

男性同性間のHIV感染対策啓発普及等に関する研究成果発表 5回

東京地域における男性同性間のHIV感染対策における啓発普及	2回
大阪地域における男性同性間のHIV感染予防対策とその推進	2回
性産業従事者が日常的に感じたり考えたりするHIV/AIDS	2回
男性同性愛者・MSM対象啓発とコミュニティ開発	7回
第10回白馬シンポジウムin金沢	1回
地域と専門病院のより良い連携に向けて	1回
HIV感染者に対するカウンセリング体制の現状と今後の課題	3回
医療相談担当者のための在日外国人HIV陽性者支援の基礎知識	4回
性産業への予防対策の研究成果をコミュニティに還元するために	1回
予防啓発のための「しかけ」の開発	1回
若者とMSM対策を学ぶ講習・討論会	4回
第3回日独エイズシンポジウム	1回

9. エイズ予防のための戦略研究事業（厚生労働科学研究費補助金）

エイズ予防対策のさらなる推進を図るため、平成18年度より新たな「エイズ予防指針」が施行されるとともに、厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）の研究課題として、「戦略研究（エイズ予防のための戦略研究）」が実施されることとなりその実施主体として厚生科学審議会科学技術部会において、本財団が選定された。

2年めとなる平成19年度は、課題研究を支援するために実施要綱に基づいて各種委員会の設置・運営を行い次の事業を実施した。

(1) 第3回運営委員会

日時：平成19年6月25日（月）午後5時より

場所：水道橋ビル3階会議室

議事：各リーダーの計画書について、進捗状況報告、その他

(2) 第4回運営委員会

日時：平成19年11月8日（木）午前10時より

場所：水道橋ビル3階会議室

議事：進捗状況等

(3) 第5回運営委員会

日時：平成20年3月28日（金）午前9時より

場所：財団法人エイズ予防財団 会議室

議事：進捗状況報告、平成20年度予算案、その他

(4) 第2回倫理審査委員会

日時：平成19年4月25日（水）午後1時より

場所：東京ガーデンパレス 2階 扇

議事：研究課題2 審査等

(5) 第3回倫理審査委員会

日時：平成19年6月11日（水）午後5時より

場所：東京ガーデンパレス 3階 平安

議事：研究課題1 審査等

(6) 第4回倫理審査委員会

日時：平成19年9月6日（木）午後4時より

場所：東京ガーデンパレス 2階 羽衣

議事：研究課題2 審査、研究課題1 書面審査の結果報告

(7) 第4回流動研究員選考委員会

日時：平成19年11月8日（木）午前9時45分より

場所：財団法人エイズ予防財団 会議室

議事：流動研究員退職の報告、流動研究員の採用について

(8) 第5回流動研究員選考委員会

日時：平成20年3月13日（金）午後2時～

場所：エイズ予防財団会議室

議事：流動研究員退職の報告、流動研究員の採用について

研究課題1：

「首都圏及び阪神圏の男性同性愛者を対象としたHIV抗体検査の普及強化プログラムの有効性に関する地域介入研究」

研究リーダー：名古屋市立大学看護学部 教授 市川誠一

わが国ではHIV感染者のおよそ60%、エイズ患者のおよそ40%がMSM（男性と性行為を有する男性）における報告例で、HIV、エイズともにMSM層の増加が続いています。この研究では、報告例の多い首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）および阪神圏（大阪府、兵庫県、京都府、奈良県）に居住するMSMを対象にHIV抗体検査促進のための啓発普及プログラムを実施し、HIV抗体検査件数の増加、AIDS発症者の抑制効果を評価検討することを目的にしています。

介入にあたっては、(1)それぞれの地域のゲイNGO/NPOが商業施設やメディア等とネットワークを構築しつつ広報戦略を展開し、(2)自治体および保健所のエイズ担当者、HIVや性感染症の検査を実施しているクリニックと連携して検査機会を拡大し、(3)受検者の不安、心配に対する相談等のリソースを紹介する体制もしくは実施する体制を構築して受検、受療を促進することとしました。

首都圏では“Real Living Together”をキーワードに、MSM向けHP「HIVマップ」を作成し、相談等に関する「お役立ちナビ情報」など、多面的な広報戦略を準備し、また保健所エイズ担当者対象の講習会を自治体と共催してきました。阪神圏では“UP! Quality of life”をキーワードに扇町公園での大型啓発イベント「PluS+」開催など各種の広報戦略を展開してきました。また、2007年10月から「～HIV陽性とわかって間もない人のための電話相談～」(陽性者サポートプロジェクト関西)が開始されました。

研究課題2：

「都市在住者を対象としたHIV新規感染者及びAIDS発症者を減少させるための効果的な広報戦略の開発」

研究リーダー：京都大学大学院医学研究科 教授 木原正博

近隣諸国のHIV 流行が悪化し、多くの先進国諸国で流行が再燃している時代において、有効なエイズ対策の確立が急務となっています。「エイズ予防のための戦略研究」における課題2の研究班は、こうした中、広報戦略を軸とし、エビデンスに基づくエイズ対策の開発を目的に研究を開始しました。

①検査動機の高揚、②検査サービスの改善、③受検者や陽性者の支援、がプロジェクトの軸であり、①は公共空間やSTD 関連医療機関における広報（メディアミクス）によって、②は保健所等や医療機関へのアプローチによって、③はNGO の支援によって、実施されます。広報の内容は、大規模な住民調査や形成調査を基礎に、社会疫学的手法に基づいて開発し、平成19 年度は、短期間ですが、STD とHIV を包括したメッセージを創り、吊り広告、大学等へのポスター、街頭ビジョン、雑誌・新聞広告、メール、インターネットのバナー広告など多彩なチャネルを用いて広報を実施しました。

10. 日本エイズストップ基金

(1) 第15回日本エイズストップ基金運営委員会

日時：平成19年6月29日（金）

場所：財団法人エイズ予防財団会議室

会議内容：日本エイズストップ基金の状況報告
：基金配分について

運営委員会委員：山本直樹・小坂善治郎・田中好子・水野 肇

(2) 助成事業・助成先（計11件 8,499,870円）

・青少年あるいは同性愛者を対象とした予防啓発事業

エイズやハンセン病について、差別や偏見を乗り越えすべての人が共に生きるための社会づくりについて踊りや歌、演劇等を通じて啓発を行うHIV人権ネットワーク沖縄と若者のHIV予防啓発活動を行っている「wAds2007実行委員会」に配分。

配分額(2件計)：3,999,870円

・社会的支援事業

エイズ患者・HIV感染者の方々への支援などを行っている「東北HIVコミュニケーションズ」、「札幌レズビアン・ゲイ コミュニティサポートセンター at」、「ライフ・エイズ・プロジェクト(LAP)」に配分。

配分額（3件計）：1,500,000円

・電話相談事業

定期的に夜間・休日に、あるいは集中的に世界エイズデー前後に電話相談を行う「せかんどかみんぐあうと」、「NPO法人AIDSネットワーク横浜」に配分。

配分額（2件計）：1,000,000円

・啓発普及事業

HIV予防教育を推進するための学校長へのアプローチ、ピア教育のリーダー育成計画の企画等を行う「I W A T E：生と性及びエイズ教育を考える会」他3件、計4件に配分。

配分額（4件計）：2,000,000円

(3) 普及啓発及びチャリティイベント事業

・「レッドリボン・スノーボーディングチャレンジ（RRSC）2007、2008」開催

白樺湖ロイヤルヒルスキー場（長野県）で平成19年4月1日及び平成20年1月26・27日RRSC実行委員会主催による、レッドリボンを冠したスノーボ

ードスラロームの大会が開催された。

- ・「エイズチャリティ騎士道杯ゴルフコンペ」開催
千葉廣濟堂カントリー倶楽部で4月30日、エイズチャリティゴルフコンペが220名の参加を得て、開催された。
- ・「エイズレゲエチャリティコンサート」開催
4月30日、大阪府堺市民会館で「エイズレゲエチャリティコンサート」（堺中ロータリークラブ主催）が開催され、収益金の116万5千円が寄付された。
- ・「アリコジャパン全社を挙げてエイズ予防と募金活動」
9月8日、東京恵比寿のウエスティンホテル東京でアリコジャパンによる寄付金（約1,500万円）の贈呈式が行われた。
- ・「第28回山田隆夫エイズチャリティゴルフコンペ」開催
山田ゴルフ倶楽部（千葉県）で11月7日（水）、チャリティゴルフコンペが140名の参加を得て開催され、30万円寄付された。
- ・世界エイズデー関連チャリティコンサートの実施
日 時：平成19年12月1日（土）
主 催：Bunkamura/TBSラジオ
共 催：（財）エイズ予防財団
場 所：渋谷オーチャードホール
内 容：森山良子さん中心にヴァイオリニストの川井郁子さんなど豪華アーティストのコンサートとエイズのトークショー。
- ・地域イベント等の普及啓発
地域で行われる祭りや催事等にブースを設置し、パンフレット等の配布を行い、合わせて募金活動も実施。「POWER OF ATAMIX '07」（熱海市8月）、
「物江民夫リサイタル」（東京豊島区8月）、「藤沢市民まつり」（藤沢市9月）、
「STOP AIDS! チャリティ古本市」（東京港区10月）、「7th アール・エスポワールチャリティ美術展」（東京世田谷区11月）、「浜松オートレース場」（浜松市11・12月）、「和太鼓でエイズチャリティライブ」（名古屋市平成20年3月）他
- ・アーティスト田中ロウマさん、ライブでエイズ予防の呼び掛けと募金
日 時：2月15日、3月2日（東京渋谷区）